

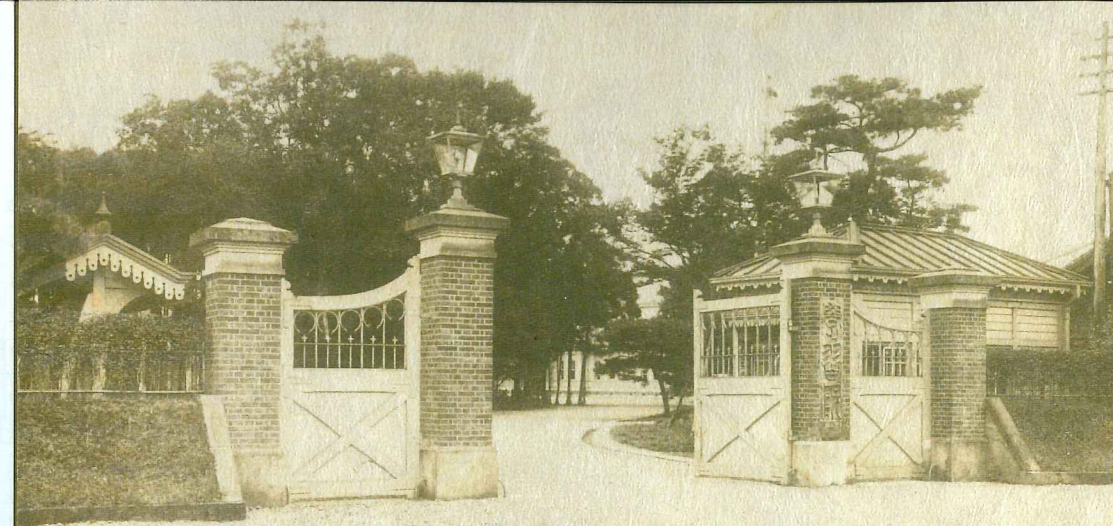


学習院大学史料館 第25回 特別展

明治・大正の学び舎

—学習院で過ごした日々—

2005年10/20(木)～11/10(木)
 学習院大学目白キャンパス 北別館(史料館)
 開室時間:10:00～17:00 閉室日:日曜日



はじめに

明治10年(1877)に華族会館によって学習院は私立学校として創立されました。この背景には、華族が社会的責任を果たすためには子弟の専門教育機関が必要である、といった声の高まりがありました。

明治17年、学習院は宮内省所轄の官立学校となりました。前年に徴兵令の改正が行われ、他の私立学校の学生・生徒と同様に、学習院の学生・生徒は徴兵猶予の特典を失うなど、私立学校であることから生じる問題があったためです。この体制は第2次世界大戦後の昭和22年(1947)に私立学校として新たな歩みが始まるまで続きました。

本展覧会では、明治・大正期の学習院での教育・学生生活に関わる史料を紹介します。日本の近代化の過程と多くの部分で重なる学習院の歴史を感じていただければ幸いです。

なお本展覧会では“キャンパスまるごとミュージアム”と銘打って、学内の“名所”を紹介しております。是非、キャンパス内の散策もお楽しみ下さい。



旧図書館[現史料館]廊下下り壁

I 目白キャンパスのはじまり

学習院のキャンパスは開校以来、神田錦町、虎ノ門、四谷へとかわり、その後明治41年(1908)に目白の地(豊島区目白)へ移転しました。

目白キャンパスの設計は文部省技師の久留正道が行いました。

キャンパスは本館・教室ゾーンと寄宿舍ゾーンに分かれ、この二つのゾーンを結ぶところに図書館が配置されました。図書館は現在、史料館として使われています。

目白は関東大震災、第2次世界大戦時の空襲などの災禍にみまわれたため、明治・大正期の建物の多くが失われましたが、史料館(旧図書館)、東別館(旧別寮)、乃木館(旧総寮部)は残り、学び舎としての歴史と時を重ねています。

※院長官舎は現在、博物館明治村(愛知県犬山市)へ移築されています。



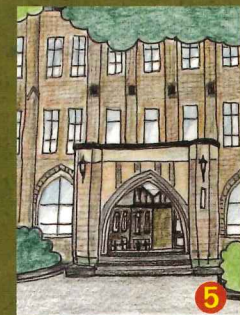
史料館〔旧図書館〕(明治42年築)



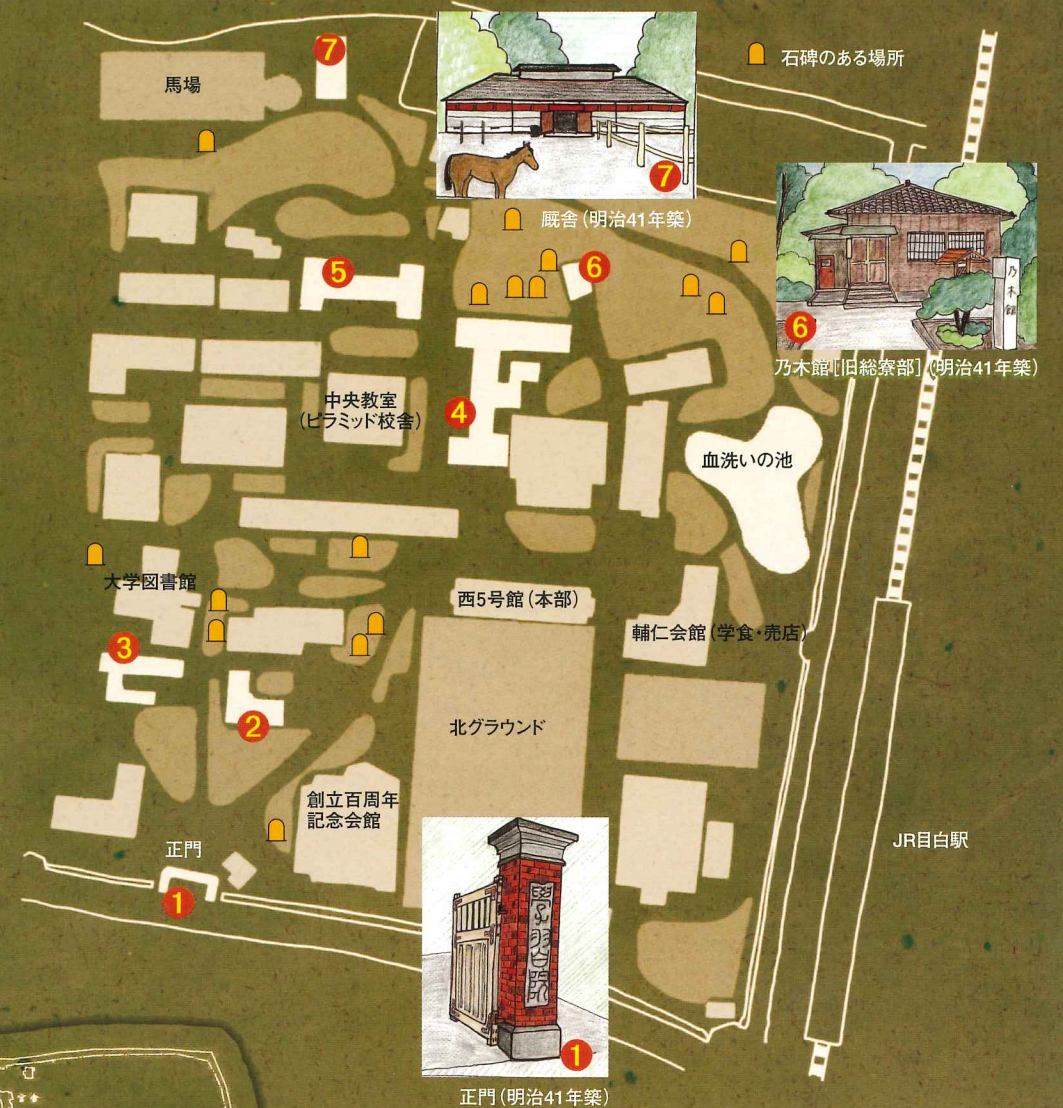
東別館〔旧別寮〕(大正2年築)



西1号館〔旧中等科教場〕(昭和5年築)



南1号館〔旧理科特別教場〕(昭和2年築)



*建物内への立ち入りはできません。
*キャンパス内散策はお静かにお願いいたします。

II 豊かな教養 学習院での学び

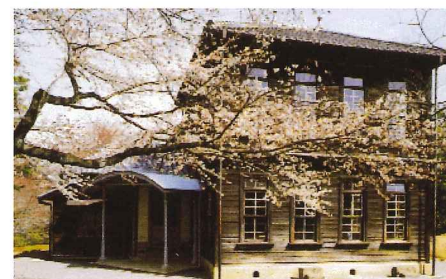
明治17年(1884)、宮内省達によって学習院規則は定められました。その後、文部省の諸学校令の改定にともない、学習院の学科課程も改定を重ねていきます。

学習院の教育体制は、明治21年に就任した陸軍中将の三浦梧楼院長(在職は明治25年まで)による教育整備に一つの画期を置くことができます。初等科では道徳の養成を図って各種教科書を編纂しました。中等学科・高等学科では、歴史教育とくに日本史と中国史・朝鮮史に関する課目が重視され、市村讃次郎・白鳥庫吉・大森金五郎教授らが授業を担当しました。

また明治・大正期の学習院では外国語教育の強化に力が注がれ、外国語を母国語とする教師が採用されたばかりでなく、仏教哲学者の鈴木大拙が英語の教鞭をとり、哲学者の西田幾多郎が独文主任教授として在職しました。幅広い教養、深い学知をもった教授陣のもとで教育がなされたといえましょう。



図書館竣工時の写真



院長官舎(明治42年築)※明治村に移築

明治末期の校内地図(当館蔵)

鈴木大拙(松ヶ岡文庫蔵)

西田幾多郎(上田薫氏蔵)



学習院初等科
初学教本(明治26年/当館蔵)



時間旅行へのお誘い

●キャンパス
まるごとミュージアム

目白キャンパスには、各時代の懐かしい表情が残っています。明治・大正期のグリーンゾーンがそのまま残っているのが、正門（明治41年築）から史料館、東別館へ続く遊歩道です。遊歩道の先には戦後を代表する建築家前川國男設計の図書館があります。キャンパスの中央にある中央教室（ピラミッド校舎）も前川作品です。その南側には昭和2年建築の南1号館（理学部）があり、これはかつて旧制時代に理科特別教場として使われていました。また、西側の西1号館は旧制時代に中等科教場として使用されたもので、昭和5年に完成した建築物です。西1号館の南側には乃木館、神壇があり、周辺にはたくさんの石碑が残されています。キャンパスの最南端には馬場と厩舎があります。厩舎は明治41年の建築で、目白キャンパスの中で、最も古い建物の1つとなっています。



白鳥庫吉（『学習院の百年』より）



運動会記念メダル（昭和12年／当館蔵）



武道大会優勝盃（昭和15年／学習院高等科蔵）

高等科音楽部（明治43年／学習院高等科蔵）

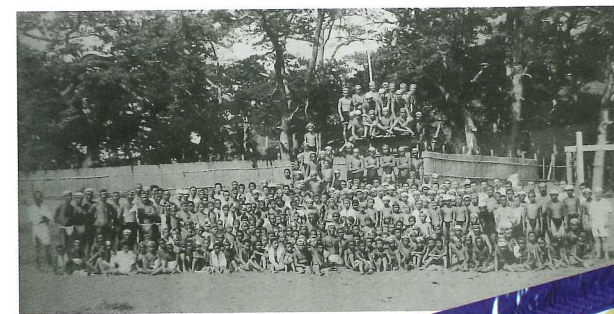


Ⅲ 我が 楽しき日々

学習院教育の大きな特色として「武課」をあげることができます。「武課」には体操のほか、柔道、剣道、馬術、游泳などの各科目がありました。とくに游泳については江ノ島、のちに沼津に游泳場を設け、小堀流の古式泳法が教授されました。

学生の課外活動も活発に行われました。課外活動の中心機関として明治22年（1889）学習院輔仁会が創設されました。会の名称は、論語顔淵篇の「君子以文会友、以友輔仁」（君子は文をもって友を会し、友をもって仁をたすく）に由来します。翌年には『輔仁会雑誌』を発刊し、志賀直哉、武者小路実篤などの白樺派が筆をふるいました。

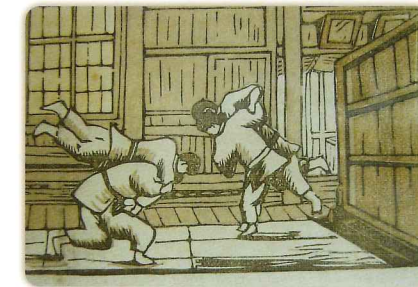
輔仁会の活動は現在も続いており、運動系、文化系の部会および団体120余りが活動を行っています。



沼津游泳場写真
（大正初頭頃／当館蔵）



院旗（学習院高等科蔵）



本展の開催にあたり、次の方々に
ご協力をいただきました。
深く感謝の意を表します。

會田康範
飯田喜四郎
上田薫
杉山経子
千葉紉
西尾雅敏

江戸東京たてもの園
博物館明治村
千葉県立房総のむら
松ヶ岡文庫

学習院院史資料室
学習院高等科
学習院大学図書館
（50音順 敬称略）

撮影 高久良一
担当 長佐古美奈子（I・Ⅲ）藤實久美子（Ⅱ）近藤順子（イラスト）

第25回 特別展 明治・大正の学び舎—学習院で過ごした日々
会期 2005年10月20日（木）～11月10日（木）
編集・発行 学習院大学史料館
発行年月 2005年10月

GAKUSHUIN UNIVERSITY MUSEUM OF HISTORY

学習院大学史料館

〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1 TEL.03-3986-0221（代表）内線6569

<http://www.gakushuin.ac.jp/univ/ua>

表紙写真：水上部学生〔松平博〕（明治45年／学習院高等科蔵）：中等科日本画授業風景（大正4年／院史資料室蔵）
裏表紙写真：目白キャンパスの様子を描いた版画（昭和初頭／当館蔵）